

## 電子契約の実証実験(その2)について

大阪広域水道企業団では、デジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組みの一環として、契約における製本、郵送費用の負担軽減及び事務効率化などの効果が期待されるクラウド型電子契約サービスの有効性を検証するため、電子契約のサービス提供者と連携し、実証実験を実施します。

### 実証実験の期間

- ・令和6年1月上旬から令和6年3月頃まで(予定)

### サービス提供者

- ・GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社

### 実証実験の目的

- ・電子契約の導入に向け、サービス提供者のクラウドシステムを利用し、電子契約を行う際のフローや使用感などの必要となる検討事項を確認します。また、事業者側に電子契約を体験していただくことも目的となります。

### 実証実験の内容

- ・落札決定後、書面による契約書の作成に併せて、上記サービス提供者の電子契約システムを利用し、クラウド上の電子文書(PDF)を使った電子署名による契約を模擬的に実施します。
- ・あくまで実証実験であるため、従来どおり書面での契約書が正式な契約書となります。
- ・本実証実験において、事業者側に費用は発生しません。
- ・インターネット環境とメールアドレスがあれば利用可能です。

### 実証実験の対象

- ・電子入札の案件(建設工事・委託役務等)から当企業団が抽出し、開札後、落札候補者となった事業者に対象案件である旨お知らせします。詳細については、落札候補者と調整の上、決定します。

### 実証実験後の対応

- ・令和6年10月頃から一部の電子入札案件について、電子契約を選択できる対象として実施し、その後順次対象を拡大していく予定です。